



南関町議会議長
酒見 喬

産業、経済の発展 教育文化の向上、 何事も前向きな議会に

新年、明けましておめでとうございます。町民の皆様方におかれましては希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨日の九州豪雨により、福岡県朝倉市また大分県日田市など大変な災害が発生し、貴重な人命財産が失われました。被害を受けられました方々に心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早く復旧できることを祈っております。しかし一昨年発生した熊本地震により被災され、未だ多くの方々が仮設住宅に入居されている現状であり、毎年繰り返される自然災害の恐ろしさに胸がいたみます。南関町でも地震の影響と思われる多くの災害復旧も急ピッチで進められており、今年度中には日途がつくものと思われま

す。昨年は南関町では比較的災害も少なく穏やかな成長の年であったように思います。そのような中、地域とともに歩み、89年の歴史を持つ県立南関高校が三月で閉校となりました。これまで11,500人の卒業生を送り出した南関高校は多くの人に惜しまれながら静かに幕を下ろしました。

南関高校の跡地と校舎利用につきましましては、「庁舎建設委員会」が立ち上げられ「基本計画策定」「基本設計」が進み、30年度には「実施設計」「工事着工」と進み、コンパクトシティ構想

も含め皆様方の活動の拠点となるような立派な庁舎建設を目指さなければなりません。南関町の農産品など6次産業化を目指した、加工品開発センターの計画も建設の段階に入り新商品の開発に意欲を燃やされることを期待しております。子育てしやすいまちを目指すファミリィサポートセンター事業であるとか、小学校低学年における外国語教科に向けた取り組みとして、幼児のときから英語に慣れ親しみ、面白くてその意味を理解できるように、こども丘保育園および各幼稚園などでオーストラリア出身の先生が指導されております。

南関町のまつりもすっかり有名になり、春は「陶器・梅まつり」夏は「ぎおんさん」秋は「大名行列、関所まつり」冬は「勇壮な出初式」と近郷はもとより県外からの観光客も多く、四季を通じての伝統行事は定着し賑わっております。

また今年度は2019年NHK大河ドラマ「いだてん」の主人公、金栗四三氏の生涯の中で小学校時代(現第三小学校)に走って登校される様子など四月頃から撮影収録されることでしょうか。ドラマの放送が楽しみです。

南関町に進出されている企業の業績も順調で、すでに増設され雇用にも貢献され収益も伸びています。今後ますます努力され発展されること

- 南関町議会議員
- 副議長 橋永 芳政
- 議員 立山比呂志
杉村 博明
井下 忠俊
立山 秀喜
境田 敏高
打越 潤一
鶴地 純子
山口 純子
本田 眞二



南関町長
佐藤 安彦

もっと住みやすい 協働のまちづくりを！

新年明けましておめでとうございます。皆様にはご家族お揃いで希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年、南関町は比較的災害が少ない穏やかな年であったように思います。が、福岡県朝倉市など、局地的な集中豪雨により大きな被害が発生しました。被災された方々へ心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を願うものであります。

さて、国においては、秋に衆議院議員解散総選挙が実施され、自民公明の連立与党が引き続き政権運営を担われることとなりました。

国会では、北朝鮮をはじめとするアジア諸国との国際情勢や憲法改正問題、消費税増税の問題など、難題が目白押しであります。

中でも、国民生活に直接関係する年金や介護、医療、子育てなど社会保障の問題は、特に実現してほしいと願うところでもあります。

また、1億総活躍社会の実現に向けた地方創生の動きの中、本町においても、南関町にしかできない特色を活かした事業を展開しています。

地域防災については、第二校区において、町主催の防災訓練を実施し、自主防災組織などのご協力のもと、災害時の情報伝達や避難体制の確認、問題点の改善を行いました。また、(株)センリンと「総合防災マップ協働発行に関する協定」を締結し、防災・減災対策やハザードマップなど皆様の暮らしに役立つ情報を提供することとしたところであります。

今後、いつどこで発生するかわからない災害から皆様方の安全・安心な暮らしを守るために、しっかりと対策を図っていきたくと考えております。

産業面においては、「南関町加工品開発センター」建設を進めております。完成後は町の米や野菜、特産品などを活かした新しい加工品が開発され、ふるさと納税の返礼品や通販の品物として

活用されるとともに、町内の商店でも広く販売されることを期待しており、「チームなんかん」として更なる事業展開を積極的にバックアップしていきたくと考えております。

町内企業の工場増設については、1月に富士ダイヤ(株)熊本製造所の増設、2月には(株)住原フイルドテック九州工場の新設、5月には、地場企業である(株)橋本製菓の工場移転・新設、8月には、エイティ九州(株)の第2製造工場が竣工するなど、いずれも大型の投資をしていただき、産業の振興と町の活性化にも大きな役割を果たしていただいております。

また、山の再生と孟宗竹などを活用したバンブーフロンティア事業については、工場の完成が少し遅れてはおりますが、バンブーフロンティア(株)、バンブーテリアル(株)の2社が来月に竣工する予定であるとお聞きしており、すでに、町内では竹の買い取りも始まっているところであります。

このような順調な企業の動きもあり、町税の合計は、27年度決算額で10億7千3百万円であったものが、28年度決算額では、11億5千5百万円と、7.6%の伸びとなっており、今後もしっかりと支援を続け、安定した町税収入を確保していきたくと考えております。

「住んでよかったプロジェクト推進事業」は、さらに充実を図った結果、効果が出始めており、小学校4校の児童数は、昨年4月で390人だったものが、本年4月には416人となり、平成35年4月には430人になると推計されており、明るい話題の一つであると思っております。

昨年4月からは、「幼児英語教育事業」を開始し、0歳から英語に触れることで小学校からの英語教育に繋つながら、将来の社会生活にも役立つことと思っております。

また、「ファミリィサポートセンター事業」の登録者も少しずつ増加しており、安心して働ける、生活できるための

援助としての役割が果たせるものと思っております。

4月から本格運行を開始しました「乗合タクシー事業」も好調でありまして、現在、約1,400人の方に登録いただき、地域公共交通の二助として、月に600人近い方にご利用いただいております。

本年1月からは、更に主曜日の運行や運行時間の延長など、利便性を高めますので、ぜひご利用いただきしたいと思います。

また、役場庁舎などの整備については、南関高校跡地を活用したコンパクトシティ構想として進めておりますが、この秋現在の状況を「南関町庁舎等建設基本計画概要版」として町内の全世帯へ配布しました。

今後は、熊本県からの無償受譲に向けた手続きを進めるとともに、安全・安心で町民の皆様からも愛される施設の建設を目指します。

スポーツ面では、5月の第11回全国スポーツクラブ会議、10月のイトRUNランラン、11月の1グランプリ熊本南関大会と、幾つもの全国規模の大会等を開催することができました。

本年1月には、東京オリエンビックス、パリンビックスの周知活動を含めたシンポジウムが山梨県、高知県、南関町の3か所で開催される予定であり、市町村での開催は南関町のみであり、中学生等も含めた内容として、町の特色を活かそうと考えております。

今年も私自身、トップセールスを含め全力を尽くす所存でありますので、住民の皆様方と行政の協働によるまちづくりをめざす「チームなんかん」として皆様方のご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、南関町の更なる発展と今年が皆様にとって素晴らしい年になることをご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

- 副町長 雪野 栄二
教育長 大里 耕守